

環境問題を考える

現代に向き合う連研

地球は、やつぱりだんだん温暖化しているんですね。ちよつと前までは入学式の頃に満開だった桜ですが、今ではその時期には散つてしまつてありません。広島県環境保健協会の調査によると、五〇年前より開花時期が一週間早まつているそうです。広島湾の潮位も徐々に上昇していて、五〇年前から比べると三〇cm上昇しました。そして、昨年一〇月には、厳島神社が水浸しになって、ついに拝観停止になりました。判断は慎重にすべきですが、どうも、やつぱり温暖化に起因するもののように私には思われます。



異常潮位の厳島神社(写真提供:毎日新聞社・掲載許可:厳島神社)

去る二月、連研(註①)で環境問題について学びました。講師は石橋寿美さんと私(編集者)。石橋さんは消費者協議会会員でグリーンコンシューマー(註②)。普段は連研の参加者ですが今回は講師としてお願いしました。石橋さんは、私たちが送っている当たり前の快適な生活が、地球環境にどのような影響を与えているのか話され、私たちの生活を見直して四つのRを実践すること提案されました。



石橋さん

①断る Refuse

過剰な包装、弁当の箸など、不必要なサービスを断る。

②再利用 Reuse

何度も使う。新聞の折込み広告の裏を使うなど。

③減らす Reduce

見ているテレビを消す、冷暖房をひかえめにする、停車中のアイドリングをしないなど。

④再資源化 Recycle

①〜③までの努力でも出てくるゴミ(紙類やペットボトル等)を焼却せずに再資源化する。

参加者は、石橋さんが実際にされているエコ生活を、スライドで見たり、環境に配慮した石けんやEM

菌洗剤など、実物を見ながら具体的に学びました。皆さんも四つのR、いかがでしょうか？
また、連研修了者は、本山で中央教習を受けること、門徒推進員として活躍できるのですが、このたび高橋義則(宮原正圓寺門徒)さんが、安芸南組としては第一号の門徒推進員になられ、参加者の前でご挨拶されました。

(註) 連研とは近隣の本願寺派真宗寺院五十四ヶ寺からなる安芸南組が主催する連続研修の略で、二年間で終了。僧侶が門徒に教えるという講義形式はなく、話し合い形式で、僧侶門徒一体となって、現代人の悩みや現代社会の問題に向き合い、教えを問はずぬく研修会です。
(註) 直訳すると「緑の消費者」。環境に配慮する消費者の意。

総代に吉中さん



前西教寺総代長の宮田信夫さんがご往生され、空席だった三津田支坊地区総代に吉中武雄さんが就任されました。吉中さんは体調を崩されるまでは三津田支坊帳場をしておられました。このたび総代をお引き受けくださるようになりました。どうぞよろしくお願ひします。